

2019年1月31日

関係各位

野村ホールディングス株式会社
コード番号8604
東証・名証第一部

のれんの減損損失の計上に関するお知らせ

野村ホールディングス株式会社(代表執行役社長 グループCEO:永井浩二、以下「当社」)は、2019年3月期第3四半期(2018年10月1日～2018年12月31日)の決算において、下記のとおり^{のれん}の減損損失を計上しましたのでお知らせします。

記

1. のれんの減損損失の内容

主にインスティネット社、リーマン・ブラザーズに関するのれんについて814億円の減損損失を計上しました。このうち810億円をホールセール部門のその他費用として認識しています。

2019年3月期第3四半期までのホールセール部門の業績状況に加え、これまでの伝統的なビジネスモデルに対する変革が昨今求められており、今後その変化がさらに加速し大きくなっていくと見込まれることから、ホールセール部門における収益性の見通しをより保守的に見直した結果、^{のれん}の減損を計上することとなりました。

なお、これにより2018年12月31日時点においてホールセール部門に帰属する^{のれん}の残高はなくなり、野村グループ全体でも^{のれん}は5億円程度となります。

2. 業績への影響

本日開示の「2019年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕(連結)」に反映しています。

3. 今後の見通し

ホールセール部門は当社の重要なビジネス部門の一つであり、引き続き収益性の改善を目指します。

以上